

ことねぎだより

2018年1月号 NO.128 WEB:kotokyoto.co.jp TEL:075-601-0668



新年あけましておめでとうございます。

今年も皆様と共に農業が出来る事を感謝いたします。自然と向き合い精進します。今年のことグループの日本一シリーズは「挨拶」です。10年前にも「挨拶」に取り組みました。今年も原点回帰の年。スタッフ一同素晴らしい「挨拶」を、お届け致します。本年もどうぞよろしくお願いいたします。
 山田敏之

今月のことねぎ

今年の台風被害を受けた、京都市内の畑で育った冬葱。今回の冬は早く訪れたこともあり、畑の場所によって少し背丈が短いところもあります。冬葱は葉の重さもあり、葉割れしやすくなっているのがとての大事。内側のあんもたっぷり、甘みは十分。



● 今月、みなさまにお届けする九条ねぎが京都でどのように育ったものなのか、物語（事）を少しでも知っていただき、より美味しく召し上がっていただければと思います。

2018年「日本一シリーズ」は挨拶

日本一シリーズとは…？

毎年、ことグループスタッフ全員で「今年これを日本一と言われるようにしよう！」と取り組む目標です。

昨年は新しいグループ会社も増え、新たに人数も増え、今一度原点回帰という意味で、日本一シリーズを始めた1番最初の「挨拶」に。従業員全員と一緒に気持ち改め取り組んでいきます。



▲ 設立当初、旧城南宮工場にて朝礼での挨拶の様子

古きよき暮らしの感覚に触れ
 もっと四季を身近に

22日
 たいかん
大寒

7日
 しょうかん
小寒

睦月

四季の「こと」
 今年の二十四節気より

季節の移ろいをごまやかに感じとり、自然の流れによりそつ首ながらの層は、農作業の目安にもなる農事歴でもあります。

寒さが極まるやや手前の頃。「寒の入り」を迎え、立春になる寒の明けまでの約一ヶ月が「寒の内」と言われています。一年でもっとも寒さが厳しい頃。また、この時期を境に日中の日が次第に長くなり、春に向かう時期でもあります。



京都市内の最低気温は1℃ほどで、12月下旬でより冷え込みが増しました。夕方16時頃には陽も落ちて真っ暗になります。

年越える前に被覆の作業

毎年この時期に行う被覆の作業。今年入った農人たちもコツやポイントを学びながら覚えていきます。風が吹くとやりづらいですが、天気が穏やかな日が続くのでどんどん進めていきます。冬の間、春先までねぎたちを守ります。



春先にお届けのねぎの準備



来年の春の亀岡や美山で定植する予定の苗も今の時期から作っています。亀岡や美山の畑は面積が広い分、たくさんの苗が必要です。春先の準備は何かと多く、陽が落ちるまでに農人たちがみんな協力して進めていきます。

